

事業所名		そだちサポートMana				支援プログラム（放課後等デイサービス）				作成日		2025 年		3 月		1 日	
法人（事業所）理念		『地域で生きる力』を育む療育、家族支援・地域づくりを包括的に展開し、利用者と家族が地域の中で生活し、幸せを追求できることを目指します。															
支援方針		・利用者本人の生きる力や能力を伸ばし社会参加を支援します。 ・利用者をつとめ環境に着目し、親子の愛着形成や健全な家族関係づくりを支援します。 ・専門性の高い職員の配置に努め、個人及び集団の両面から療育を行い、効果的な発達支援を提供します。															
営業時間		平日 土曜日 夏季				15時 00分 17時 00分 13時 20分 16時 30分		から		時 分まで		送迎実施の有無		あり ☐ なし ☐		積極的な送迎は行っておりません	
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	自分の身の回りの世話、健康管理ができるよう、日常の支援や生活行動の中で支援します。 ・健康増進や体力向上を目的とした遊びや運動（ストレッチ、マッサージ、ビジョントレーニング、屋外遊び）を行います。 ・着替えなど、日常に必要な不可欠なスキルを身につけるための支援を行ういます。・自分の持ち物の片付け、自ら帰り支度ができるように促します。															
	運動・感覚	専門職の評価を基に、個々に必要な動作や運動の支援を、遊びや活動に組み入れます。 ・運動と感覚の協応を高めます。 ・粗大運動と微細運動を向上させます。 ・感覚過敏に対する配慮をします。															
	認知・行動	利用者の得意・不得意など特徴を踏まえたうえで認知課題に向き合い生活や学習ができるよう支援します。 ・個別の時間を設け、利用者に沿った課題を取り組めます。 ・課題を通じて、できる実感を実感を積み重ね、自己理解と自己肯定感に結び付けます。															
	言語 コミュニケーション	活動のあらゆる場で自分の思いを発信し、受け入れられる体験をしていきます。 ・相手の思いを知り、受け入れる体験をしていきます。 ・ことばでやりとりをし、折り合いをつける体験ができるよう支援します。 ・ことばの発達を支援するために、専門職員を導入します。															
	人間関係 社会性	自他の思いを大切にしながら自分なりに社会参加する力を育みます。 ・集団活動できる場面と空間を共有しつつ自分活動を楽しむ場面の中でどう行動するのか職員と共に考える機会を提供をします。															
家族支援		活動の様子を口頭・動画・写真などによって伝えます。利用者の様子を家族と共有し、計画や取り組みが適切か確認します。家族からの相談は随時受けられるよう努め、育児支援をします。兄弟児についての相談も受け入れます。								移行支援		保護者の希望、了承の下、学校、終了支援先、各機関と連携をし、相談援助を実施します。					
地域支援・地域連携		当事業所以外での利用者の様子について情報を共有できるよう関係機関と連携を取ります。								職員の質の向上		計画的な研修、内部専門職による研修及び、外部講師を招いて研修を行うことにより職員の資質向上を図る。定期的な職員会議、ケース検討を行い職印間の連携を図ります。					
主な行事等		ハイキング（春季） 夏まつり（夏季） 外出プログラム（夏季） 地域公民館の文化祭参加（10月） みかん狩り（11月） 年賀状購入、作成（12月） 味噌づくり（2月）															